

丹波篠山市
福住重要伝統的
建造物群保存地区選定



10周年 記念フォーラム

みんなで作る、

福住の町並み保存とこれから



令和4年

日時

11月23日 (祝・水)

13:00 ~ 16:30

会場

旧 福住小学校 体育館
(丹波篠山市福住342)

参加無料 (要 事前申込)

基調講演

あらためて知る
福住のまちなみの
すばらしさ

講師

神戸大学名誉教授 黒田 龍二氏
(丹波篠山市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員)



■講師プロフィール

神戸大学名誉教授/日本建築史 1955年生まれ。名古屋工業大学工学部建築学科卒業。関西大学大学院修了。工学修士。1986年 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。学術博士。日本学術振興会特別研究員。神戸大学工学部、大学院工学研究科教授を経て現職。文化庁文化審議会文化財分科会第二専門調査会、第三専門調査会、滋賀県文化財保護審議会などの委員を務める。丹波篠山市においては2004年より丹波篠山市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員。

■主な著書

『中世寺社信仰の場』(思文閣出版1999年)、『纏向から伊勢・出雲へ』(学生社2012年)他

◆主催：丹波篠山市・丹波篠山市教育委員会 ◆協力：福住まちなみ保存会

丹波篠山市福住重要伝統的建造物群保存地区選定 10 周年記念フォーラム みんなでつくる、福住の町並み保存とこれから



このたび丹波篠山市福住伝建地区は、平成 24 (2012) 年 12 月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから 10 周年を迎えます。

選定以降、保存修理事業による伝統的建造物の修復と並行して、地区住民を中心に保存地区の魅力を発信する様々な取り組みが行われてきました。

市外から移住された方が地区内の古民家を再生して事業活動を展開し、また地域住民が NPO 法人を立ち上げ、廃校となった小学校を活動拠点として住民、事業者、来訪者が一緒に福住の魅力を発信するなど地域の活性化に取り組んでいます。

この 10 年間で福住には県内外から多くの観光客が訪れ、市内でも移住者が多い地域となり、歴史と新しい文化が結びつく創造性豊かなまちづくりが展開されています。

福住重伝建地区選定 10 周年を記念して、伝建制度を活用したこれまでの活動を振り返り、地域の歴史と伝統を継承しながら新たな価値の創出や経済の発展につながるまちづくりをどのように取り組むのか市民とともに考えるフォーラムを開催します。

プログラム



- 13:00 開会 (開場 12:30)
- 13:20 基調講演「あらためて知る福住のまちなみのすばらしさ」
講師 黒田 龍二氏 (神戸大学名誉教授)
- 14:20 【休憩】
- 14:30 パネルディスカッション
テーマ「福住のまちなみを未来につなぐために
～これまでの 10 年、これからの 10 年～」
■コーディネーター
清水 夏樹氏 (神戸大学大学院農学研究科特命准教授)
■パネリスト
黒田 龍二氏 (神戸大学名誉教授)
三輪 康一氏 (神戸大学名誉教授)
森田 忠氏 (福住まちなみ保存会会長)
佐々木 幹夫氏 (NPO 法人 SHUKUBA 理事長)
安達 鷹矢氏 (株式会社 Local PR Plan 代表取締役)
- 16:00 閉会



住吉神社「住之江の庭」特別開放

記念フォーラム開催日の午前中 (10 ~ 12 時) には、住吉神社「住之江の庭」を特別開放します。
場 所：住吉神社「住之江の庭」(丹波篠山市川原 270)

住之江の庭

1966 年に昭和を代表する作庭家、重森三玲 (しげもり みれい) によって作庭されましたが、近年は経年劣化が進んでいました。そこで 2018 年 2 月から福住の住民が中心となって 3 年間の修復ワークショップをおこない、2020 年 2 月に見事に作庭当時の輝きを取り戻しました。また、その芸術的、歴史的な価値から同年 2 月 20 日には兵庫県指定文化財 (名勝) に指定されました。



住吉神社「住之江の庭」(県指定名勝)

申し込み方法

フォーラム前々日までに住所・氏名をメールまたは FAX で文化財課まで。(当日は直接会場にお越し下さい。)
メール : bunkazai_div@city.sasayama.hyogo.jp FAX : 079-552-8015



お問い合わせ
丹波篠山市教育委員会
社会教育部 文化財課
TEL: 079-552-5792
(平日の 8:30 ~ 17:15)



芸術文化振興基金助成事業